



中間レポート#2

プレゼンテーションテクニック

はじめに

2022年度OSGS前期プログラムに参加させていただいております、廣田優理です。

夏明けに始まったこのプログラムも残すところプレゼンテーションの日を含めて2回となりました。11月末の今は、ペアと一緒にプレゼンテーションのスライドを作ったり練習をしたりしています。半袖で受けていた授業もフィンドレーでは雪が積もるような季節になりました。

授業について

最近の授業では、主にプレゼンテーションをするときのテクニックについて教わっています。

プレゼンテーションの準備をするときには、ノートカードを作るとよいそうです。私は今まで原稿を使うなどをしてきましたが、視線が下を向いてしまう、どうしても読み上げるだけになってしまうなどがある為、必要最低限の事のみを記したメモをカードとして持っておくことで“話す”ことに重点を置くように練習をしています。

また、本番の役割分担については、グレッグ先生から日本とアメリカの発表担当を入れ替えたかどうかという提案があり、私はアメリカについて、ベアの Taber は日本について発表します。

スライドのレイアウトなどもグレッグ先生にアドバイスを頂きながら順調に進んでおり、他のメンバーのものも少し参考にしたりして修正しているところです。

直近の授業では、授業中に小さな地震が日本で起き、私たちがあまりに冷静に震度を予想しているのを見てグレッグ先生が驚いていた姿が印象的でした。自然環境や国民性の面での大きな違いも垣間見られた瞬間でした。

灯台下暗し

意外と知らない自国のこと

America

- Typically no dress code for public school
- Hair can be dyed colors
- Makeup can be worn
- Students can have ear, mouth, nose, etc. piercings

Japan

- Restricted dress code.
- No hair dyeing
- No makeup
- No remaking uniform
- No piercing



01 ペアとの活動

02 プレゼンテーション準備

03 振り返り

ペアとの活動

ペアの Taber とは相変わらず毎週土曜日か日曜日に Snapchat や Instagram でビデオチャットを通じて意見交換をしています。最近、今までに話した内容をスライドにまとめ始める作業に入っており、私のおかしな英語を直してもらいつつですが終わりが見えてきました。

プログラムのこと以外にも話をすると、日本語の勉強をしているようなので私の漢字勉強ノートを見せると興味を持ってくれました。同じ読みの様々な漢字がある事を難しいと私は思っていたのですが、同じ発音の英語も沢山あると教えてくれました。これは本当に面白かったです。

プレゼンテーションの準備

前述のように、日本とアメリカの発表担当を反対にするので、お互いにプレゼン中に質問をし合うことにしました。お互いに例えばどんなことがあるかなどを聞きあうことで、原稿を読んでいるようにならず、自然な発表にしていきます。まだまだ私は英語を話すときにつかえてしまったり言葉の選択がおかしかったりするので、それを直してくれるペアはとってもありがたいです。

右上の写真のようなスライドを作っていますが、どうしても文を書いてしまうので更に削ったりできるように工夫していきます。

気づいたこと・振り返り

プレゼンテーション内で質問をし合うということで、質問を考えることも兼ねて事前に相談することなくアドリブで質問をしたところ、答えに詰まるものがいくつもありました。中でも“どうしてだと思う？”という質問には、当たり前のように受け入れてきたことだったので、いかに自分が自分の国のことを知らないかがよくわかりました。今回のことが調べるきっかけになったので良い機会だったと思っています。



これはグレッグ先生にプレゼンテーションの悪い例として動画を見せ頂いた時のものです。コメディ仕立てで説明された動画で、あまりに面白かったので皆で笑っているところです。口頭での説明だけではなくこのように動画やコメディも挟むので時に大笑いしながら楽しく授業が進んでいきます。

埼玉親善大使について

親善大使の活動としましては、現段階ではまだ実現できていませんが、活動日程は決まっており、対面で他のメンバーとお会いできることが今から楽しみです。私たちは川越の歴史的な街並みのある地域を訪れ、歴史、食、文化などの面から埼玉県 PR をしたいと思っています。